


学芸員技術研修会開催要項

学芸員技術研修会一覧表

研修番号	開催県	開催日	開催時間	テーマ	講師名	会場	申込締切
1	宮崎県	2019年 6月26日(水)	10:00~17:00	展示制作	洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館)	都城市立美術館	5月31日(金)
2	長崎県	2019年 7月1日(月)	10:00~17:00	展示グラフィック	熊谷 淳一 (株式会社ノイエ)	長崎県美術館	5月31日(金)
3	鹿児島県	2019年 7月31日(水)	13:00~17:00	著作権	福井 健策 (弁護士、日本大学芸術学部)	鹿児島市立美術館	6月28日(金)
4	熊本県	2019年 8月26日(月)	13:00~17:00	資料保存	木川 りか (九州国立博物館)	くまもと文学・歴史館	7月26日(金)
5	佐賀県	2019年 10月11日(金)	10:00~17:00	梱包技術	ヤマトグローバル ロジスティクスジャパン(株) 九州美術品支店社員	佐賀県立博物館・美術館	9月6日(金)
6	福岡県	2019年 11月18日(月)	10:00~17:00	博物館教育	齊 正弘 (美術家、元宮城県美術館)	福岡市美術館	10月11日(金)
7	大分県	2019年 11月25日(月)	10:00~17:00	照明技術	藤原 工 (株式会社灯工舎)	大分県立 埋蔵文化財センター	10月25日(金)
		2019年 11月26日(火)	10:00~17:00				
8	沖縄県	2020年 1月27日(月)	10:00~17:00	ユニバーサル・ ミュージアム	広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館)	沖縄市立郷土博物館	12月20日(金)

■主催：「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会（九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館） 事業責任者：緒方 泉（九州産業大学地域共創学部教授）

受講料	無料	申込方法 ＊メールにてお申し込みください＊ ●あて先 >>> museum03@ip.kyusan-u.ac.jp ●件名 >>> 学芸員技術研修会（希望する研修名を書く） ●内容 >>> 氏名（ふりがな）、所属、職名 研修会に期待すること（講師に聞きたいこと）	QRコードからも お申し込みできます。 
参加対象	別紙のとおり		

問合せ先 「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会
 中込 潤（事務局長、九州産業大学美術館学芸室長） museum03@ip.kyusan-u.ac.jp



趣旨

2015年11月、ユネスコ総会で採択された「博物館とコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」は、1960年の博物館に関する勧告以来55年ぶりのものであり、その特徴は「ミュージアムが教育に果たす役割」が独立した条項（第12項）となったことだ。ICOM2019京都大会を前に、改めて何のために博物館は存在するのか。博物館教育は地域社会の中でどのような意味を持ち、どのような可能性があるのかを問い直す必要がある。

それは2020年東京五輪・パラリンピック大会に向け、文化庁が2012年のロンドン大会の18万件を上回る20万件の文化プログラム実施を目標にしたこととも関係する。20万件という数字を達成していくには、開催地東京だけでは難しく、全国各所の地域博物館もその実施拠点とならなくてはならない。そのため今回、持続可能な文化プログラムの研究開発やそれを支える学芸員を含めた博物館創造活動人材の育成とともに、九州・沖縄地域博物館の機能そして連携強化を図るために、研修会を開催する。

研修会の特徴

- 現職学芸員のニーズに沿った研修内容です
- 講師陣が多岐で、博物館学の今を知ることができます
- 研修会は自由選択、1講座でも受講できます
- 研修会は九州・沖縄8県で開催します
- グループワークが多いので、館種を越えた人的ネットワークができます

受講料 無料

主催

「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会（九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館）



研修詳細一覧

研修番号 1

研修分野	展示制作	内 容	9:30 受付
講師	洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館特任教授)		10:00 自己紹介、「展示制作」の悩みの共有
ねらい	「テーマは決まり、作品リストも固まったけれど、さあこれらをどう展示しようか？」と、毎回悩める学芸員も多いと思います。今回は都城市立美術館の展覧会を事例に、「展覧会の作り方」を講義、グループワークを通じて学びます。		10:30 報告「展覧会の作り方—都城市立美術館を事例として—」 講師：西田 実未 (都城市立美術館学芸員)
定員	30名 (定員を超えた場合は抽選とします)		11:10 収蔵作品展「新しい物語のはじまり2019」会場見学
受講者像	展覧会の企画立案、制作を行なう博物館関係者、大学教員、学生等		12:00 昼食
開催日時	2019年6月26日(水) 10:00-17:00 (9:30 受付開始)		12:50 グループワーク1「展示制作のココはいいなあ【I like】、ココはこうしたいなあ【I wish】というポイントを検証する」
会場	都城市立美術館 (宮崎県都城市姫城町7-18)		13:40 グループ発表 (西田学芸員からコメント)
昨年度受講生の声	●①展覧会は「おもてなし」ということは目からウロコだった②中景・近景・遠景での見せ方などは意識していなかった③展示をするときに「展示の目的」を明文化し、それが迷ったときの判断基準になることを学んだ④「自分事化」すると関心を持ってもらいやすいことを知りました。 ●今回、展示に対して複数人で客観的に意見を出し合うことで、新たな視点や改善点が見つかった部分があったので、自館の展示でも活用できればと思います。		14:20 講義「展覧会の作り方」で留意したいこと」 講師：洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館特任教授)
			15:10 休憩
			15:10 グループワーク2「もう一度展覧会を見てみよう」
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。	16:05 グループワーク3「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」	
締切日	2019年5月31日(金)	16:35 グループワーク4「今日は意味のある時間になりましたか」	
		17:00 終了	

研修番号 2

研修分野	展示グラフィック	内 容	9:30 受付
講師	熊谷 淳一 (株式会社ノイエ代表取締役)		10:00 自己紹介、「展示グラフィック」の悩みの共有
ねらい	最近ではポスター、チラシ等広報物を予算の関係から学芸員が行うことが多くなっています。今回は視覚伝達効果が高い広報物を制作するための「キャッチコピー」「文字の配置・大きさ・フォント」「配色」「紙面構成」等について学びます。		10:30 グループワーク1「他館のチラシデザインの相互評価」
定員	50名 (定員を超えた場合は抽選とします)		11:00 講義1「チラシ作りの基礎1<チラシ制作の4つの重要要素>」
受講者像	ポスター、チラシ、パネルのデザインで悩んでいる博物館関係者、大学教員、学生等		12:10 昼食
開催日時	2019年7月1日(月) 10:00-17:00 (9:30 受付開始)		13:00 グループワーク2「チラシの改善点を話し合う」
会場	長崎県美術館 (長崎県長崎市出島町2-1)		13:15 グループ発表「チラシの改善点について説明する」
昨年度受講生の声	●展示グラフィックの基礎について学びました。チラシやポスターを作成する際には、メリット、コピー、デザイン、個性の4つの重要な要素があり、それぞれの意味とそれらの重要性について理解できました。 ●印刷物や解説パネルの作成では、ターゲットとなる来館者のニーズや来客を引き込むセールスポイント、展示のコンセプトがデザインの柱となることを踏まえ、常に顧客目線でデザインに取り組むことが必要であることを学びました。		14:00 講義2「チラシデザインとキャッチコピーの基本技術」
			14:50 休憩
			15:05 講義3「展示パネル制作の基本技術」
受講上の留意点	最近作成した展覧会チラシ、展示パネルを持参してください。受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。	15:55 休憩	
締切日	2019年5月31日(金)	16:05 グループワーク3「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」	
		16:35 グループワーク4「今日は意味のある時間になりましたか」	
		17:00 終了	

研修番号 3

研修分野	著作権	内 容	12:30 受付
講師	福井 健策 (弁護士、ニューヨーク州弁護士、日本大学芸術学部客員教授)		13:00 開会行事
ねらい	「どんな情報が著作権で守られるのか?」「どんな利用に著作権は及ぶのか?」「何処まで似れば侵害なのか?」「PD(パブリック・ドメイン)とは?」など。日ごろ文化芸術・教育に関係する皆さんが悩まれている著作権に関する考え方、対応法を学びます。		13:15 講義1「どんな情報が著作権で守られるのか」「どんな利用に著作権が及ぶのか」
定員	50名 (定員を超えた場合は抽選とします)		14:15 休憩
受講者像	著作権対応で悩んでいる博物館・図書館・行政・学校関係者、大学教員、学生等		14:30 講義2「著作権の境界」「アーカイブの挑戦と権利の壁」
開催日時	2019年7月31日(水) 13:00-17:00 (12:30 受付開始)		15:30 演習1「皆さんからの質問に答える(事前アンケートを基に)」
会場	鹿児島市立美術館 (鹿児島県鹿児島市城山町4-36)		16:00 休憩
昨年度受講生の声			16:15 演習2「本日の講義に関する質疑応答」
			17:00 終了
			受講上の留意点
締切日	2019年6月28日(金)		

研修番号 4

研修分野	資料保存	内 容	12:30 受付	
講師	木川りか (九州国立博物館学芸部博物館科学課長)		13:00 自己紹介、「資料保存」の悩みの共有	
ねらい	「科学の力、人力で博物館資料を守る」をテーマに、「展示環境、収蔵環境では何に気をつけたいか」「光、汚染物質、虫、カビにどう対処するか」「災害時にどう対応するか」などを木川りか先生の講義とくまもと歴史・文学館の取組みから学びます。		13:30 講義「科学の力と人力で博物館資料を守る」	
定員	30名 (定員を超えた場合は抽選とします)		15:00 休憩	
受講者像	資料保存・修復に関心がある博物館・図書館関係者、大学教員等		15:15 報告「くまもと文学・歴史館の資料保存取組み事例の紹介」	
開催日時	2019年8月26日(月) 13:00-17:00 (12:30 受付開始)		15:35 演習「各館の資料保存取組み事例を木川先生が解説する」	
会場	くまもと文学・歴史館 (熊本県熊本市中央区出水2-5-1)		16:25 グループワーク「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」	
昨年度受講生の声			17:00 終了	
			受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。
			締切日	2019年7月26日(金)

研修番号 5

研修分野	梱包技術	内 容	9:30 受付
講師	ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)九州美術品支店社員		10:00 自己紹介
ねらい	「仏像の梱包はどこに注意すればいいの?」「紐の結び方って何回やっても覚えられない!」「掛軸を巻くと、いつもタケノコみたいになる」など、作品の取り扱い方、梱包・開梱の仕方を実際を体験的に学びます。		10:30 A班実習①「保護材の作り方—薄葉紙の特性と多彩な使い方を知る」 A班実習②「仏像作品の取り扱い方、梱包の仕方」 B班実習①「掛軸の取り扱い方」 B班実習②「茶器の取り扱い方」仕覆の紐掛け」
定員	30名 (定員を超えた場合は抽選とします)		12:00 昼食
受講者像	梱包・開梱技術に関心がある博物館関係者、大学教員、学生等		13:00 A班、B班の実習内容を入れ替えて実施
開催日時	2019年10月11日(金) 10:00-17:00 (9:30 受付開始)		14:30 休憩
会場	佐賀県立博物館・美術館 (佐賀県佐賀市内1-15-23)		14:45 A班・B班実習「こんな作品の梱包の仕方は?、箱づくりは?」
昨年度受講生の声	●今まで周囲から与えられるものから保護すればよいという安直な考えが先行していた為、梱包を行う際・解く際にかかる負荷を失念していました。今後は資料の状態を見ながら修理箇所や脆い箇所などを保護し、安全に梱包することを心がけたいです。また、自分以外の人が細かくことを考えて前後がわかる様にすることや注意事項を記載することなど次にバトンタッチすることも考えて作業していきたいと思っています。		16:15 グループワーク1「作品の取扱いや梱包を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」
			16:45 グループワーク2「今日は意味のある時間になりましたか」
			17:00 終了
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。		
締切日	2019年9月6日(金)		

研修番号 6

研修分野	博物館教育	内 容	9:30 受付
講師	齋 正弘 (美術家、元宮城県美術館教育普及部長)		10:00 自己紹介、「博物館教育」の悩みの共有
ねらい	美術とは「ビックリ」することである、そして「博物館教育とは、自立した個人を育成するものである」と話す齋先生。米国留学を基に、帰国後の宮城県美術館における長年の博物館教育実践例や福岡市美術館の探検を通して、その意味を考えます。		10:30 講義「学校教育と博物館教育のそれぞれの特徴を考える」
定員	30名 (定員を超えた場合は抽選とします)		11:30 演習1「齋先生と福岡市美術館の探検してみよう」
受講者像	博物館教育に関心がある博物館関係者、大学教員、学生等		12:30 昼食
開催日時	2019年11月18日(月) 10:00-17:00 (9:30 受付開始)		13:20 グループワーク1「福岡市美術館をモデルに教育プログラムを企画してみよう」
会場	福岡市美術館 (福岡県福岡市中央区大濠公園1-6)		14:10 演習2「教育プログラムの発表と齋先生からの講評」
昨年度受講生の声	●「鑑賞とは新たな知識を身につけることではない」、「ワークショップは気の利いた図工体験ではない」など、何かを教えなければならぬという感覚から、改めて博物館教育の性質を確認し、軌道修正のきっかけになったと思います。		15:10 休憩
			15:20 グループワーク2「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」
			16:20 グループワーク3「今日は意味のある時間になりましたか」
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。美術館内外を探検をしますので、動きやすい服装、靴でご参加ください。		
締切日	2019年10月11日(金)		

研修番号 7

研修分野	照明技術	内 容	1日目 (2019年11月25日)	
講師	藤原 工 (株式会社灯工舎代表取締役)		9:30 受付	10:00 自己紹介、「展示照明」の悩みの共有
ねらい	「毎回、展示照明は悩むよなあ」「どんなLEDを選んだらいいの」という皆さん。今回は照明の基本知識を学んだ後、ハロゲン電球、LED等を用いた作品を魅せるための展示空間づくりについて、大分県立理蔵文化財センターの展覧会を事例にグループワークを通じて学びます。		10:30 講義1「照明の基礎を知る」	12:00 昼食
定員	30名 (定員を超えた場合は抽選とします)		12:50 講義2「展覧会の展示照明計画の作り方」	13:20 グループワーク1「ハロゲン電球、LEDを使って展示空間を作る」
受講者像	展示ライティングの基礎を知りたい、LEDの選択方法を知りたい博物館関係者、大学教員等		14:30 グループ発表1「工夫した照明演出について説明する」	15:10 演習1「藤原先生がグループの展示空間を評価・解説する」
開催日時	2019年11月25日(月) 10:00-17:00 (9:30 受付開始) 2019年11月26日(火) 10:00-17:00 (9:30 受付開始)		16:00 休憩	16:15 講義2「ここは押さえておきたい【照明技術のポイント】」
会場	大分県立理蔵文化財センター (大分県大分市牧緑町1-61)		17:00 1日目 終了	
昨年度受講生の声	●照明の演色性についてよく知ることが出来ました。進化の早いLEDライトですが、その方式によって、さまざまな特徴と特性があり、展示用の照明に使える物と使えない物があるということを知り、実験によって展示品の見え方も変わってくるというのを実感しました。照明を使って展示空間の演出の仕方にもいろいろある方法があること、また、展示への影響力を藤原先生の取り組みを通して、知ることができました。実習を通して、照明は意図を持って行いますが、その意図が展示や観覧者の邪魔にならないようにする難しさも感じました。		2日目 (2019年11月26日)	
			9:30 受付	10:00 昨日のふりかえり (今日の照明作業の目標設定)
			10:30 グループワーク2「他のグループの展示空間を意識しながら、空間全体の照明を考える」	
受講上の留意点	脚立を使った展示作業をしますので、動きやすい服装、手袋を準備してください。本研修会は2日連続で行ないます。1日だけの参加はできません。受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。			
締切日	2019年10月25日(金)			

研修番号 8

研修分野	ユニバーサル・ミュージアム	内 容	9:30 受付
講師	広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館准教授)		10:00 自己紹介
ねらい	「無視覚流鑑賞法とは?」「見常者と触常者とは?」「ハンズオン展示の意味は?」「なぜさわることが必要なのか?」など、ユニバーサル・ミュージアムの疑問を広瀬先生の講義とさわる体験を通じて学びます。		10:30 講義「無視覚流鑑賞法の極意」
定員	30名 (定員を超えた場合は抽選とします)		12:00 昼食
受講者像	ユニバーサル・ミュージアムに関心がある博物館関係者、大学教員、学生等		12:50 グループワーク1「無視覚流鑑賞法の体験(1作品目)」
開催日時	2020年1月27日(月) 10:00-17:00 (9:30 受付開始)		13:20 グループワーク2「無視覚流鑑賞法の記録記入、共有」
会場	沖縄市立郷土博物館 (沖縄県沖縄市上地2-19-6)		13:50 グループワーク3「無視覚流鑑賞法の体験(2作品目)」
昨年度受講生の声	●現在の学校教育では、早く行動する、答えをすぐにに出せることに力点が置かれる傾向にあるが、時間がかかったことやかけたことの方が自分の財産となる。考える時間が記憶に残るといわれたことにとても共感しました。教育、子育ての根源はそこにあると思ったからです。 ●アイマスクで、まさに館内効果を実験し、初対面の人とも情報を共有することから、一体感が生まれた気がします。見えないことで普段の思考とは違う感覚で作品を味わい、点から面でつなげていくことで作品の全貌を模索していく作業が新鮮で小粋様		14:20 グループワーク4「無視覚流鑑賞法の記録記入、共有」
			14:50 休憩
			15:05 グループワーク5「見ながらさわってみよう」
受講上の留意点	受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。	15:55 グループワーク6「無視覚流鑑賞法の体験を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」	
締切日	2019年12月20日(金)	16:35 グループワーク7「今日は意味のある時間になりましたか」	
		17:00 終了	